

親子の架け橋一筆啓上

# 親子の手紙

～20周年記念 優秀賞作品集～



心の教育推進協議会

## はじめに

親子の架け橋「筆啓上「親子の手紙」」は、日頃、なかなか口にできない親子のそれぞれの思いを百字以内の「短い手紙」につづり、互いの気持ちを理解することや家族の話し合いを大切にする気運を高めることをねらいとして、小中学校の児童生徒とその保護者を対象に募集してまいりました。平成10年度より、「豊かな心を育む教育推進県民会議」の事業として始まり、平成23年度からは、「心の教育推進会議」が引き継ぎ、本年20周年を迎えることができました。これもひとえに、ご応募いただいた子供たちとご家族の皆様をはじめ、学校、PTA等、関係者の皆様のご理解とご協力の賜と心より御礼申し上げます。

はじめは五百点あまりの応募でありましたが、年々応募数が増え、近年は三万点に近い応募が寄せられ、これまでの応募総数は二五九、九二二点となりました。ご応募いただいたどの作品も、親や祖父母に対する子供たちの感謝やいたわり、また、子供の気持ちを優しく受け止め、愛情を注ぐご家族の姿が目に見え、心温まるものばかりです。

これまで、優秀賞、入選（優良賞）作品を毎年、作品集としてまとめてきました。今般、20年を節目に、あらためて親子の絆にふれていただきたく、これまでの優秀賞一七八作品を集めた本誌を発行することとしました。

近年、インターネット接続機器や携帯ゲーム機等の普及から、家族が一緒に過ごしていても画面と向き合う時間が増えつつあるとも言われている中で、親子の会話やふれあいの時間がいっそう求められてきております。ここに掲載された作品を多くの方にお読みいただき、家族の温かさやふれあいの大切さ等をあらためて感じ取っていただくとともに、明るい家庭づくりの一助となれば幸いです。事業が始まった当初に応募されたお子さんの中には、今では自身が子を持つ親になられた方もたくさんいらっしゃることと思います。「親子の手紙」を通じて、家族の愛情や思いやりの気持ちが親から子に引き継がれ、さらに、子供たちを温かく見守り育てようとする気持ちが家庭から社会に広がることを心より祈念いたしております。

心の教育推進協議会会長 石川県教育長 田中 新太郎

ランドセルをおくと、友達と遊びにいつてしまう信くん。もう、お母さんなんか相手にしないのかと思っていました。食事の支度、掃除をしている後姿を見て、我慢していたのかな。もっと、もっと、ずっと一緒に遊ぼうね。

(母)

おかあさんとあそびたい。おとうさんとあそびたい。ふたりともいそがしいから。

(小1 金沢市)

えり、本当に大きくなったね。女の子が欲しいと言ったお父さん。えりが生まれた時には、嬉しくて自分から知り合いや、近所の人にも電話しまくったんだよ。今思うとおかしいけれど、よっぽど嬉しかったんだね。

(母)

私も、お父さんとお母さんから生まれてよかったです。お父さんがそんなによろこんだとは全然知らなかったけど、それを聞いて、うれしかったよ！大人になったら人に役立つ仕事をしたいな！がんばるから、見ててね！

(小4 小松市)

晴ちゃんは新しいことをする前に、いつもあきらめて「できません」と言いますね。できない、と思うと、あきらめないで「やってみよう」とチャレンジしてみよう。

(母)

「いやや。」「めんどくさい。」「わからん。」「わすれた。」「できん。」「つかれた。」「じゃあどうするん。」「考えれん。」「気もかわるい。」「あたまたいたい。」「いみわからん。」「たいくつ。」「が、ちよっとへるよようにがんばります。」

(小2 加賀市)

何だか最近、小言ばかり言っているような気がします。本当に必要なことが伝わらずに、たあいもないことで気持ちが悪く空回りしているのかもしれないね。もっとお互いに、のんびりできるといいですね。

(母)

いつも、私ばかり今日あったことなどを話しているけど、ママも、今日あったこと、つくり話でもいいし、昔あったことでもいいから、「りさ、今日なにあった。」と聞く前に、ママのことを話してほしい。

(小5 金沢市)



いつも周りの人から、「友達みたいにな親子だね。」と言われる。でも、お母さんはそれで満足しています。話してくれる娘がいてくれて、誇りに思っている。いつまでも、仲良しの友でいたいね。

(母)

「ねえ、お母さん気付いてる？私が楽しみにしていること。」それは、夕食の用意をしながら鼻唄を歌っているお母さんの姿を見ること。いつも、おいしいご飯と何よりも楽しい笑顔、ありがとう。これからも、宜しくね。

(中3 加賀市)

菜緒の目には、菜那(赤ちゃん)ばかり可愛く思っているように感じたのね。菜緒のことも大切に思っているのだけど、思っているだけではだめだね。今度いっしょにクッキーを作ろう。お父さんも「怖いかな？」と反省しているよ。

(母)

おかあさんへ  
おかあさんは、ななちゃんのどんなところが好きですかおしえてください。  
またきいてみますからね。  
あとおかあさんは、おとうさんがおこると、どういうきぶんになりますか。  
なおは、かなしいきもちになります。

(小1 金沢市)

いつもお姉ちゃんのおさがりが多くなってしまいう仁美だけ、あの時もよくがまんできたね。えらかったよ。やさしくて思いやりのあるひーちゃんは、パパの自慢のむすめだ。たまにはわがままを言ってもいいんだよ。

(父)

このまえ、パパが、お姉ちゃんに自転車をかけてあげて、「私も新しいのがいい。」と、言っていて、ごめんさないと、わがままいわないでいうこときくようにがんばります。これからも、お姉ちゃんとなかよくするね。

(小3 金沢市)

突然倒れたおばあちゃんの看病と仕事で、風邪のあなたの元へも帰れずいた時、「お母さん心配かけてごめんね。」悠里頑張るし、今はおばあちゃんの為に頑張つて。」と言ってくれてすごうれしかったです。ありがとう。

(母)

私が困っている時いつも励ましてくれてありがとう。頭も良くないし、迷惑ばかりかけているけど許してね。大人になったらいっぱい恩返しするから、それまでしんぼうしてね。無理せずに、体に気をつけてがんばってね。

(中3 津幡町)

妹が生まれたね。お母さんがいない間もおりこうだったね。赤ちゃんのお世話、手伝ってくれて助かるよ。ありがとう、お兄ちゃん。今は、赤ちゃんにかかりっきりだけど、三人みんな同じ、お母さんの大切な宝物だよ。

(母)

「ぼくが赤ちゃんの時も同じだった？かわいかった？お母さん、大変だった？」  
早紀ちゃん生まれてよかったね。  
ぼくの妹、かわいいね。  
おっぱい、おしめ、大変だけどがんばってね。  
ぼくも手伝いますね。

(小2 田鶴浜町)

長女ってつらいよネ。お母さんも同じだったのに、つい、あなたを叱ってしまいます。あなたの気持ちも考えずに、ごめんネ。その時のあなたの顔を見ると、子供の頃の悲しかった自分と重なります。次から気をつけるよ。

(母)

つらいこともあるけれど、お母さんは、仕事も家のこともやっているのに、長女の私がしっかりしなきゃ。もう来年は中学一年。つらいことがあってもがんばるよ。お母さん、「産んでくれてありがとう。」

(小6 小松市)



みきちゃん、おとうとおおごえでないても  
いっしょになかなくていいんだよ。  
みきちゃんのきもちもわかるけど、  
ふたりでなくともかなしくなります。  
パパもママも  
ふたりのわらっているかおが  
だいすきです。  
(母)

(小1 金沢市)

留守番ありがと。待たせてゴメンネ。  
悲しくて涙が出そうになる時や、  
体がだやくてつらい時も、  
たつのニカッとしたびかぴかの目を見れば  
元気がモリモリ。  
たつがモリモリ食べている顔を見れば、  
ごはんがおいしいよ。  
(母)

(小4 金沢市)

最近中学生による犯罪が多発していますが、  
それは、日頃のストレスが  
うまく発散されていない事も  
原因ではないかと考えられます。  
あなたを見ていると、  
どこにストレスがあるのかと  
思っています。  
(母)

(中3 七塚町)

夏休みはよく遊び友達と仲良く出来た事、  
今は「ホッ。」としています。  
野球も頑張ったし、  
水泳は大きく進級よかったね。  
心配して怒ったりしたけど、「スヤスヤ」と  
まっ黒の体を延ばして寝ている時、  
「よく育ってくれたネ。」  
ほめているんだよ。  
(祖母)

(祖母)

(小2 珠洲市)

兄妹が多いから、  
いっぱいがまんさせているね。  
綾子は知らないだろうけど、  
お母さんは、  
眠った綾子にいつも話しかけているよ。  
かわいい寝顔を見ているだけで、  
お母さんは、とても幸せです。  
また二人ででかけようね。  
(母)

(母)

(小6 美川町)



一年生なのに、  
まだ「だっこ」っていうの？  
赤ちゃんじゃないんだから。重いよ、21kg。  
でも、心が乱れている時は、  
ほっぺをくっつけてだっこすると、  
優しくなれるね、お互い。  
だから、ママも「だっこ」は精神安定剤。  
(母)

(母)

(小1 寺井町)

だっこ、好き。  
さみしいとき、うれしいとき。  
ぎゅうとだっこ。  
5ねんせいまで、だっこ。  
(父)

(父)

あきと、  
おとうさんいつもしごといそがしくて、  
なかなかあそんでやれなくてごめん。  
またいっしょにつりいこうな。  
こんどは、おかあさんもおどろく  
おおもものをつつてような。  
おとうさんまたのしかつたんだよ。  
(小1 富来町)

(小1 富来町)

言語が不自由だから、いじめられたり  
つらい思いをした事もあるのに、  
お母さんが心配するからって、  
話してくれないけど、  
これから話してね。  
一緒に悲しんだり、  
くやしがりたりしたいから、  
お願いね。  
(母)

(母)

(小4 金沢市)

ことばはふじゆうだけど、  
いみがわかるんだね。  
こんどからつらいことがあったらはなすよ。  
がっこうでは、ともだちがいじめてくるけど、  
ちよっとさみしくて、  
ちよっとうれいけど、  
つらいことがあったらいうからね。  
おねがいね。  
(小5 金沢市)

「正太郎！」  
と毎日怒ってばかりの母ですが、  
正太郎のことが大好きなんだよ。  
朝のゴミ出しをしてくれたり、  
目玉焼き作ってくれたり、助けてくれるね。  
なかなか言えないから、手紙に書きます。  
「ありがとう。正太郎君。」  
(母)

(母)

(小5 金沢市)

お父さんは、  
お母さんも利史くんも公彦くんも  
大事にしているぞ。  
お前達をいつも笑顔で見ている。  
お父さんには自信があるぞ。  
いっしょにやりたいこともいっぱいある。  
幸せだろう。  
ちよっとくっつきすぎかな。  
(父)

(父)

(小6 小松市)

立入禁止のあなたの部屋は、秘密ワールド。  
何か尋ねると、「乙女の秘密！」  
と言って教えてくれないので、  
ちよっと寂しいけど、  
「本当に困った時は相談にのってね。  
頼りにしているよ。」  
というあなた。  
どーんと任せなさい。  
(母)

(母)

この間、保護者の通知表渡しの翌日、  
先生に、  
「おまえは、おかあさんに似ているな。」  
って言われた時は何かでれちゃって  
「先生、似てませんよ。」  
なんて言っちゃったけど、  
なぜか後でうれしかったよ。  
いつもサンキュ！  
(中3 金沢市)

(中3 金沢市)

ゆっちゃん、いつも、あーちゃんにかあさんの  
ひぎをとられてもがまんしていたね。  
いよいよ、はじめてのなつやすみ。  
あーちゃんをほいくしよへおくつたら、  
かあさんのひぎ、  
まいにち、  
ゆっちゃんのものだから。

(母)

おかあさんへ  
わたしは、もう一ねんせいになったから、  
おかあさんのひぎにすわるのは、  
すごくはかしいよ。  
でも、あーちゃんに  
ないしよにしてくれるんなら  
いっぱいすわりたいなあ。

(小1 押水町)

えみちゃんへ  
いつもひろの世話をしてくれて  
ありがとう。  
なんでも  
自分でしっかりできるえみちゃんだけで、  
「おたん生日プレゼントは、  
お母さんといっしょに寝ること。」  
って言うえみちゃん。  
とてもうれしかったよ。

(母)

おかあさん、  
わたしも、  
「いっしょにねられる。」  
って言われたときは、  
とってもうれしかったよ。  
それが、たん生日プレゼントのもの。  
ひろかずのせわもがんばります。

(小2 加賀市)

さやかへ  
さやかは、  
とてもやさしくてかわいい子です。  
でも時々お兄ちゃん達とケンカをしたり  
わがままを言ったたり困ることもあるけど、  
食事の手伝いもするし  
がんばるところ大すき。

(祖母)

おばあちゃんへ  
おばあちゃんのたいしょうごと、  
とてもすてきだね。  
こんど、おおきなふるどけいひいてね。  
いっしょにうたうから。

さやかより

(小1 富来町)

毎日、仕事で帰りが遅くなり、  
一緒に過ごす時間が少なくなつて  
ごめんね。  
のんちゃんが作ってくれた夜食のオニギリ、  
本当は冷めているけど、  
お母さんには温かい気持ち  
ちゃんと伝わっているよ。  
いつもありがとう。

(母)

まい日、おそくなつてもいいよ。  
これからもオニギリをつくってあげるからね。  
でも本当は、さみしいんだ。  
だから早くかえれる日は、  
いっしょにあそんでね。  
ママのこと大すきだよ。  
がんばってね。

(小2 珠洲市)

少年野球の後、船の手伝いさせて  
ごめんね。：ありがとう。  
おこつてばかりのお母さんやけど、  
おいしい夕飯を作ってたよ。  
体力つけて、勉強、野球、手伝い、  
がんばろう。  
おうえんしとるよ。  
フアイト拓海!

(母)

少年野球もがんばるし、  
船の手伝いもちゃんとするし、  
勉強もがんばる。  
だから、野球のおにぎりもつくって、  
見に来てね。  
お母さんのおかげで  
少年野球もがんばれるんだ。  
特に、お母さんのおにぎりは力がでるんだよ。

(小4 輪島市)

最近、体も心も成長して来たと思う。  
心は、周りの人達のおかげだということ  
忘れぬよう、感謝しよう。  
体は、父さんも負けないぞ。  
でも、体も心も  
父さんよりデカクなつてほしい。  
そんな日が来るのが、楽しみだ。

(父)

父さん、なんでそんなに体がでかいの？  
子どものころからでかいの？  
ぼくは、この間、東京の友達に  
「でけえ。」  
と言われた。  
やっぱり父さんにているのかな。  
でも、大人になつたらお父さんよりも  
でっかくなるぞ。

(小4 羽咋市)

「お母さん、お母さん。」  
「お母さん見て、見て。」  
「お母さん聞いて、聞いて。」  
そんなに心配しなくても、  
光輝の話を聞いてるし、  
光輝のこと大好きだよ。  
私の愛情が足りないのかな。

(母)

お母さんは、ぼくと話をする時、  
あつちを向いてて  
知らないふりをするから、  
心配でたまりません。  
お母さん、  
ぼくのことをお兄ちゃんより、知也より、  
もっともつと一番すきになつてね。  
やくそくだよ。

(小3 輪島市)

転校する日、  
小さな背中が淋しそうでかわいそうでした。  
でも、あなたなら  
乗り越えられると思っていました。  
いい出会いと別れを知っている分、  
やさしく、強くなれるのかも。  
そんな、あなたの成長が、  
まぶしいです。

(母)

お母さん、  
私、ずっと転校したくなかつたって  
言ってきたけど、  
五年たつてふと思つたら、  
前の学校の子とも遊べるし、  
友達が2倍になつて、楽しめるから、  
今は、転校した事が良かったと思つています。  
ありがとう。

(小6 金沢市)

パパがお星さまになつてから、  
今年の秋で4年になりますね。  
さみしい思いをさせているかな？  
とママの心配をふきとばすくらい、  
元気に優しく大きくなりました。  
莉子は、  
ずーっとママの大切な宝物だからね。

(母)

パパがいなくなつて、いろんな事があつたね。  
でも、りこは、  
ママがとても強くなつたと思う。  
りこはまだただけだね。  
きつと、りこが元気なのは、  
パパとママに似たからだと思う。  
ありがとう。  
パパとママの子でよかった。

(小5 美川町)

翠、お父さんが仕事を  
名古屋へ変えようとしていた時、  
「お父さんがやりたいなら、  
名古屋へ行つてもいいよ。」  
と言つてくれた事、嬉しかったよ。  
月に一度しか帰れないけど、  
帰つた時は、  
ゆつくり話をしよう。

(父)

いつも仕事ごろうさま。  
私は、お父さんが  
自分の好きな仕事をしている姿が  
好きです。  
私も、お父さんと  
同じ仕事が出来たいんだよ。  
だから、私が大人になつたら、  
私を弟子にしてね。

(中2 中島町)

失敗したら、やり直せばいい。  
一緒に悩み考えよう。  
お母さんのお腹に  
小さな命になつてきてくれた時から  
あなたの事が大切なんだよ。  
その時は、こんなかわいい女の子だつて事も  
まだ知らなかつたけどね。

(母)

私が5年のとき、  
合宿の前日に  
大きなもんだいをおこしてしまつたとき、  
よなかにいっしょに泣いてくれたね。  
ありがとう。  
あるとき先生におこられるより、  
お母さんに泣かれたほうがつらかつたよ。  
友達を大切にします。

(小6 小松市)

優しい孫に育つてくれて、ありがとう。  
いつまでも自分が成長する為の努力を  
惜しまない人に育つて下さい。  
天国で見守つてくれてる両親に  
恥ずかしくない様に、生活をして下さい。  
これからも、  
おばあちゃんと、仲良くしてね。

(祖母)

大切に育ててもらつて、ありがとう。  
生活面も、勉強も頑張つて、  
立派な社会人になる事を約束するので、  
安心して下さい。  
これから先、  
楽しい事もいっぱい有ると思うので  
健康に注意をして、  
長生きをしてほしいです。

(中2 金沢市)

いつもさびしい思いをさせてごめんね。ひぎの中で本を読んでいるうちにねていたあなた。このごろは最後までできるようになったね。次はかけざんの九九といこうか。こらこら、ねたふりはいけません。

(母)

おかあさん、おしごとばかりできらいです。ばんごはん、いっしょにたべたいし、学校のことやともだちのことも話したいです。でも、おひぎの中で本をよんでくれるのならゆるしてあげる。ねえ、おふろにはいろいろよ。

(小2 小松市)

ペランダに出るだけで、キャンプをしているような気分になれそうだね。弥生と寝ころんで、星を見ながら、色々な話をしたいな。ペランダが二人のもう一つのお家になったら素敵だね。でも、お兄ちゃん達には内緒だよ。

(母)

おかあさん、夏休み、ペランダにあそび場とねるばしょをつくらうよ。できたらいっしょにねようね。ダンボールのおうちもつくらうね。いろいろなものをつくってなつ休みをすごそうね。ダンボールのおしろもいいね。

(小2 金沢市)

朝寝坊の彩ちゃん、ポケットベルや目覚ましベルにも起きない。これからは、朝きちゃんと起きれるように努力して下さい。人を助ける仕事は大変ですがこれからも頑張ります。彩ちゃんも勉強をしっかりやって下さい。

(父)

(小5 小松市)

毎日何回も「あかね。」「あかねちゃん。」「あかねえ。」と呼ぶね。そのたびに「はい。」って返事して「なあに。」って言って来てくれるね。呼び方や呼ぶ声でだいたい何の用かわかっているみたいだけど。なんかおかしいね。

(母)

「あかね。」「ちよっときて。」って言われるだけで何言うか、もう予想つくようになってきたよ。それは毎日、言われているからなのかな。自分でも不思議なくらいだよ。こんなことがあるのは家族のきずなが深いから？

(小5 金沢市)

母さんも、あずさが大きすぎだよ。やきん明けのおき手紙、いつも、ありがとう。明日もあさつても休みだぞー。ずつといっしょにいようね。夏休みの自由研究のかぶと虫、つかまえに行こうよ。楽しみだなあ。 母さん

(母)

おかあさん、おかえりなさい。きょうは、やきんでつかれたとおもうから、いっばい休んでね。休みの日は、一日中ずっと、いっしょにいようね。おかあさん大好き。じゃ、行ってきます。 あずさ

(小2 押水町)

りょうたろうが、小学校に交流に行った時喜んでくれて本当によかったよ。本当は兄弟4人とも同じ学校に通ってくれるのが夢だったんだよ。学校が違って、兄弟仲良く学校にいる時間を大切に、今を楽しんでね。

(父)

いつも、ようご学校に通っている弟のりょうたろうが交りゆうで、わたしの小学校に来てくれて、すぐくうれしかったよ。いつでもまってるから何回も来てほしいよ。休み時間には、いっばいあそぶからね。

(小3 金沢市)

美穂へ 幼くて、お母さんの記憶は少ないかも知れないが、教えてあげるよ、お母さんのこと、お母さんの、あなたへの思い。いつまでも、お母さんのことを、わすれないでいてほしいから。

(父)

父より

私が小さい時、お母さんがいなくなってお父さん一人で、私やお兄ちゃんお姉ちゃんを育ててくれました。いつでも私たちを思ってくれたお父さん。いつもは、はずかしくて言えないけど、お父さん、ありがとう。

(小6 金沢市)

最近の将棋は、なかなか勝てなくなった。勝敗は時の運である。しかし、よく考えてみると、待ったの数は、おまえの方が多い。今度は、待ったなしでやろうではないか。ささいな事だが大切なことだ。

(父)

将棋で負けてばかりいるくやみか？お父さんは、一手がおそい。五分、十分かかっている。ほんとの勝負には制限時間があるんだぜ。まったなぞ使わなくとも時間切れでオレの勝ちだ。

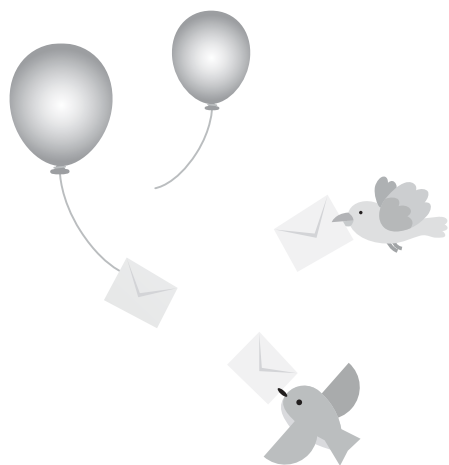
(中1 七尾市)

夏休みのしゅくだいで病院のかいご体けんをして本当によかったね。お年よりたちいろいろな手助けができてよろこんでもらえてよかったね。童生とてもいい顔してたよ。ありがとうって言われる事、たくさんしようね。

(母)

お母さんが病院の仕事をすきなわけ、わかった気がするよ。大へんな仕事だけど、やりがいがあるよね。ふだんは、おこったりするけど、お年よりのかんじやさんの前では、え顔なんだろうね。これからは仕事がんばってね。

(小3 富来町)



いつからかな。素直に「はい。」と言わなくなったのは。いつからかな。親をバカにするようになったのは。いつからかな。会話が少なくなってきたのは。反抗期という名のトンネルは、いつぬけるのかな。

(母)

最近、お母さんの顔がちよっとこわいと思う。僕が反抗期だからだね。でもお母さんが嫌いなわけじゃなくて、素直になりたいんだだけどなれなくて、ゴメン。これが反抗期かな。これからは素直になるから元気をだして!!

(中1 輪島市)



すごかったね。がんばったね。しゅうへいはちいさなころからはしとよくころぶこだったから、おかあさんずいぶんしんぱいしたよ。でももうだいじょうぶ。さいごまでがんばれたもんね。またいっしょにはしろうね。

(母)

おかあさん、ぼくがりれのせんしゅにえらばれたとき、びっくりした？  
ぼくのことしんぱいしてはしりかたをおしえてくれたね。いっしょにいっぱいはしってくれたね。ぼくころばないではしれたよ。すごかったやろ。

(小1 宝達志水町)

帰り遅くてごめん。寝坊してごめん。時間なくて本当にごめん。母親業に順位をつけるとすれば、きつとお母さんはビリ。だけどね、一つだけ優勝する自信がある。日向がSOS出したら、一番に。

(母)

帰ってくるのがおそくても、ねぼうしても、時間なくても大じょうぶ。お母さん業に順位をつけるひつようなんかないよ。私の心の中では、いっつも優勝！お母さんがSOSの時私だってすぐ行くよ。私だっすおそいけど。

(小4 白山市)

お父さんがいきなり倒れて入院した時、お母さんは、あなたの事を何もしてあげられなかったのに、いつも黙ってお手伝いをしてくれました。どれだけお母さんの支えになったかわかりません。遅くなったね「ありがとう。」

(母)

華は、お母さんが元気がなかったから、ちよつとも笑った顔が見たかったよ。本当は背中にかくれて泣きたかったけど、がんばったよ。これから、お父さんもお母さんも絶対に病氣しないで、元気でいてね。

(小5 内灘町)

航平へ  
そうだね。学校から帰って来ると、お決まりの言葉になってたね。じゃあ明日からは、「夕食を一緒に作ろうよ。」に変えてイイかな？ (苦笑)

(母)

おかあさんへ  
「べんきょうをさいしよにしなさい！」  
「ゲームは、一時間いじょうダメ！」  
って毎日言うけど、ぼく、もうまもっているよ。そろそろセリフかえてくれないかな？

(小2 内灘町)

「ありがとう」は、うれしくなる言葉だね。今まで、じいちゃんに世話してもらった分、徹の出来る事をしてあげよう。人に喜んでもらえる事で自分も喜べたら、きつとすばらしい大人になれると思うよ。

(父)

父さん、この間、じいちゃんのネクタイ結ぶのとボタンをとめるのを手伝ったよ。そしたら、じいちゃんが、「おまえでも出来るげんな。ありがとう。」と言われた。ぼくだっすそれぐらい出来るよ。でも、うれしかった。

(小4 羽咋市)

陸上大会では、自己記録を更新できたね。家で自主トレすると言った時は少し驚きました。あの緊張感の中で結果を出せた事がとても嬉しいですよ。お互いに、あせらず、自分の歩幅でいろんな事に挑戦して行こう。

(父)

お父さんへ  
勉強や、スポーツでダメだった時も、「人とくらべなくても自分なりにガンバレばいい」と言ってくれました。ぼくは、そんな事を言ってくれるお父さんの事がすごく大好きです。

(小5 穴水町)

最近、反抗期なのかよくお互い衝突する事があるね。でも全然平気だよ。だって、お母さんが中学生の頃と同じ事を言ってるから。だまって沈んでるより、気持ちをぶつけた方がスッキリして素直に近づけると思うよ。

(母)

このごろ、素直に「はい。」とか、返事ができなくなりました。何でだろう。素直になれなくなると、自分がつらい。でも、こんな時期が終わって、ちゃんと「はい。」って返事できる日が、一日でも早く来るといいな。

(中1 能美市)

正直な気持ちを言ってくれてありがとう。本当にうれしい。今は、大人になる過程で起るあたりまえの気持ち。気にしないで下さい。また、楽しく会話が出来るまで、ゆっくりと待っています。

(父)

お父さん、いつも冷たくしてごめん。自分の気分で、お父さんに対しての態度が変わってしまっただけ。本当は、冷たくしてしまっただけから、「ああ、またやってしまった。」と反省します。また冷たくしたらごめんなさい。

(中3 志賀町)

十歳を過ぎた頃から、抱きつくこと逃げるようになったね。でも、あなたが甘えたい時、泣きたい時、つらい時、苦しい時、いつでも抱きしめてあげられるように、両腕ひろげて待っているからね。

(母)

いつも反こうばかりしてごめんなさい。でも私ももう少しで中学生。だきつかれるのをイヤがるのも当然の年ごろだよ。わかってほしいなあ。ただね、本当はお母さんのおいが大好き。私がつかれた時はだきしめてね。

(小6 小松市)

誰も覚えていなかったと思った誕生日に、一番乱暴者のあなたからもらった「ネットレス」本当にびっくりしました。でも一番大切にしますよ。誰かにやさしくしたらきつと自分にいつか必ず返ってくると思います。

(母)

かあさん、いつもすまん。オレは何もしてやれんぞ。優しい言葉もうまく言えんけど今日はかあさんの誕生日やったなあ。小遣いで買った「ネットレス」やおめでどう。また明日からのむせ。

(中3 金沢市)



ママへ  
今日のたまごやき、  
あまくてほわっとしておいしかったよ。  
ママの手はりょうりしたり、  
がっきをえんそうしたり、うんてんしたり、  
なんでもできるからすごいな。  
ぼくは、ムギユとしてくれる  
ママの手がすきだよ。  
(小1 金沢市)

龍之介へ  
ママもきみをムギユってだきしめると  
心も体もパワーがじゅうでんされて  
元気いっぱい、なんでもできる手に  
へんしんしちゃうからふしぎだね。  
さあ、今日も  
まほうの手、は大いそがし！  
(母)

「仲間外れにされたって、平気だよ。」  
って、強がっていたけど、  
この前の行事の時に  
横に座って、少し話せたよって、  
すごくうれしそうに話してくれたね。  
お母さんもうれしくなったよ。  
勇気を出して頑張って！  
(母)

なかまはずれにされて、  
ずーっとひとりぼっちで、  
本とうは、すごくさみしかったよ。  
この前のパーベキューのときから、  
また、みんなといっしょに  
あそべるようになったよ。  
ゆうきを出して、はなしてよかった。  
(小2 小松市)

帰ってきて、大泣きするからびっくり  
普段めつたに涙を見せない匡なのに。  
自転車のこと、匡にとっては大事件。  
でも、お母さんは、  
そこまで大事に思っていたことが  
わかって、  
何だか嬉しかったよ。  
(母)

せつかく買ってもらった自転車  
こわしてしまつてごめん。  
公園で遊んでいて気づいたら、  
たおれてこわれてた。  
悲しくて、家までがまんしたけど、  
家についてたらがまんできなかつた。  
新しいのはいらない。  
直して使うから。  
(小6 金沢市)

ぼくは、ずっと、兄弟がほしかったので  
智貴が生まれてうれいしです。  
智貴の笑顔が  
かわいくてしかたありません。  
だから、お母さんが、大変な時は  
いつでも面どうをみてあげるよ。  
ぼくの大切な弟を生んでくれて  
ありがとう。  
(小6 志賀町)

十才離れた弟ができてからというものの、  
何かと寂しい思いをしているでしょうに：  
ごめんね。  
でも、そんな振りも見せず、  
弟をとて可愛がつてくれる  
義貴お兄ちゃん。  
その姿は、とても頼もしく思います。  
いつもありがとう。  
(母)

パパ、たまには私の事、ほめて下さい。  
何かできるようなつたり、  
がんばったりしてると、  
ママはいっぱいほめてくれるよ。  
アドバイスもいけど、  
とにかくすごい！ってほめてくれたら  
もっと話したい事、あるのにな。  
(小4 金沢市)

景子が、勉強、そろばん、水泳など  
いろいろな事にチャレンジしている姿を  
ちゃんと見ているよ。  
パパはママのように  
いつもそばにいることはできないけれど、  
ママはコーチ、パパは監督として  
いつも見守っているよ。  
(父)

母の日にあげた写真立て、うれしかった？  
こんなことしかできなくてごめんさい。  
いつも私や兄ちゃんのために  
がんばる母さんを見ると  
「私もこんなかあさんになりたいなあ。」  
と思う。  
母さんが私の一番のあこがれです。  
(小4 金沢市)

きれいなビーズをちりばめた、  
すてきな写真立て。  
ありがとう。  
どんな時でも、見るたびにほっとします。  
いつまでも、  
あなたのナンバーワンでは  
いられないかもしれないけれど、  
ずっと、ずっと、オンリーワン。  
(母)

ぼくは、お兄と違って、  
運動があまりできない。  
プラモ作りもゲームも  
やっぱりお兄にかなわない。  
比べないでほしいな。  
ぼくは、ぼくなんだから：  
お父、言ってくれたよね。  
ぼくにもいっぱい良い所があるって。  
(中1 七尾市)

智博のいい所は、やさしいところ。  
思いやりがあり、我慢強く頑張るところ。  
お父は、智博のいいところ、  
たくさん言えるぞ。  
前向きに頑張る姿もしっかり見てるぞ。  
お兄も、智博も、  
お父とお母の大事な宝や。  
ガンバレ！  
(父)

やさしく明るい彰仁は、家族の宝ものだよ。  
この前  
「ぼくにも反抗期がくる？  
どんなふうになるのかな。」  
と言ったね。  
反抗期は必ずくるよ。自分探しのためにね。  
大丈夫、どんと受けとめてあげるから  
安心して反抗してね。  
(母)

反抗期かもしれないことが  
今、起きている気がする。  
イライラしたり、「意味わからん。」と  
思ったりすることがある。  
そんな時、いつも笑って聞いてくれる母さん。  
ちよっと尊敬だ。  
母さん、もう少しの辛抱だ。  
オレも頑張る。  
(中1 能登町)

頼まなくても、  
さつと手を引いてくれてありがとう。  
新聞やおもしろい本を  
読んでくれてありがとう。  
ご飯粒も拾って食べてくれるね。  
他にもいっぱいありがとう。  
目の悪い母からの感謝状、  
受け取って下さい。  
(母)

こちらこそありがとう。  
今日の夕飯のたけのこのにも、  
とってもおいしかったよ。  
いつも、やさしいお母さん。  
頭の中では、数えきれないほどの  
ありがとうがあるんだよ。  
いつも、やさしいお母さん。  
本当にありがとう。  
(小6 小松市)



この間、顎の骨折で入院した時、  
一人で食べた流動食、  
すごく味気なくてまじかったわ。  
おかあ、俺、これから、  
おかあが少なくてまじくても、  
文句言わんよ。  
だって、家族七人で食べれることが  
何よりのご馳走やつてわかつたから。  
(中2 志賀町)



とうちゃん、  
 多くのすもうたいかいのために、  
 まいにちしごとがおわってから  
 れんしゅうしてくれてありがとう。  
 そして2いになれたのは  
 とうちゃんのおかげだよ。  
 おれいにビール2ほんを  
 おかあさんにたのんであげるね。  
 (小1 穴水町)

こちらこそ、  
 蓮の頑張っている姿を  
 見せてくれてありがとう。  
 相撲を通して、初めて蓮と同じ目標にむかって  
 真剣に取り組めて  
 父ちゃんは嬉しかったよ。  
 母さんからビール2本にしてもらえるの  
 楽しみにしてるぞ。  
 (父)

お母さん、  
 このまえ、学校からかえるときに  
 すぐく雨がふっていて  
 おじいちゃんが  
 ながぐつをもってきてくれたよ。  
 うれしくて「ありがとう」と言っただけど、  
 もう一ど、おかあさんといっしょに  
 おれいを言いたいなあ。  
 (小2 小松市)

この日の事、  
 お母さんもおじいちゃんに、感謝しています。  
 やさしい心って嬉しいね。  
 ありがとうの言葉は  
 何回言ってもいいことよね。  
 あなたをこんな気持ちにさせた  
 おじいちゃんに、  
 早速、今夜にもお礼を言いますよ。  
 (母)

夜回り当番の日、  
 いつも一緒に行ってくれてありがとう。  
 夜道は怖いけど、  
 京ノ介が一緒だと  
 ものすごく心強いよ。  
 少し前を歩くあなたの後ろ姿を見ながら、  
 最近大きく  
 頼もしくなってきたなあと感じています。  
 (母)

ぼくだって本当は、  
 少し夜道はこわいんだ。  
 だけど、お母さん一人で  
 夜道を歩かすわけにはいかないよ。  
 もっとすぐ、背だつてぬいてしまおうし、  
 そう、ぼくはいっただつてお母さんの  
 しんえいいたいだから。  
 (小5 能美市)

お母さん、ぼくが考えている事、分かる？  
 実は、とてもさみしいんだ。  
 四月から、  
 お父さんが遠くへ仕事に行つたでしょ。  
 夜になつても、  
 お父さんの部屋の電気が付かないのが、  
 とてもさみしいよ。  
 今日だけ、言わせてね。  
 (小5 能登町)

祥、分かっているよ。  
 お母さんだつて、同じ気持ちだもん。  
 去年は、  
 お姉ちゃんが金沢の学校へ行つたし、  
 今年はお父さん。  
 でも、お母さんは祥と頑張りたいよ。  
 キャッチボールやサッカーも、相手になるよ。  
 楽しいこころ。  
 (母)

去年から育てていたクワガタが、  
 冬をこして生きているね。  
 今年も一生きん命育てて、  
 よう虫がいっぱい生まれるといいな。  
 命って、大切なんだね。  
 クワガタも、  
 ぼくと同じ命をもっているんだね。  
 (小4 金沢市)

本当にそうだね。  
 命って大切だね。  
 今日も勇輝は、クワガタの世話をしながら  
 「家族みたいだね！」  
 と嬉しそうに笑っていたね。  
 一人一人が、  
 そんなやさしい気持ちになれたら、  
 世界中が、笑顔でいっぱいになるね。  
 (母)

星香ちゃんも夜いっしょに寝るのが  
 お父さんは大好きです。  
 布団でいっばい星香のお話が聞けるから。  
 星香のお話は本当におもしろいよ！  
 先生の事とか、  
 お友達のこととか、  
 これからもいっばいお話聞かせてね。  
 (父)

星香もお父さんと夜ねるのが大好きです。  
 だって、  
 その日のことをたくさん話せるから…  
 楽しかったことや、  
 お友達と遊んだこととか、  
 星香はいつもお話を聞いてくれる  
 お父さんが大好きです。  
 ありがとうお父さん。  
 (小4 内灘町)

最近、自転車から変な音がする。  
 スピードもあまり出ない。  
 前輪も後輪も曲がり、  
 走っているとき後ろから見たら  
 かなりひさんな形をしている。  
 もうすぐこわれそう。  
 いつこわれるか分からないけど  
 こわれたときはよろしく。  
 (小6 内灘町)

母の予算計画では、その自転車で  
 高校の通学にも使ってもらう予定なので  
 たのむから、  
 もっと大事に乗ってくれ。  
 前輪も後輪も曲がっているのは、  
 あんたがレーサー気分で、  
 タイヤすべらすから。  
 そのうち転ぶぞつら。  
 (母)

ゆうや  
 毎日勉強大変だあ。  
 あんまり勉強できなくてもいいよ。  
 からただだけは丈夫しておかにかや。  
 明るい人間になつてくれよ。  
 友達もたくさんつくってください。  
 ゆうや、海はいいぞ！  
 じいちゃんと、海へゆこう。  
 (祖父)

じいちゃん  
 とてもいい言葉ありがとう。  
 じいちゃんのこととおりの  
 将来は漁師になります。  
 そのためには勉強をいっばいしないと  
 漁師になれないので  
 勉強をがんばります。  
 じいちゃんと海へ出るのは約束だよ。  
 (中1 能登町)

花奈が作った玉子焼きが  
 おいしくてびっくりしたよ。  
 いつのまに、上手になったのかな？  
 お母さんの玉子焼きと  
 そっくりない味でした。  
 花奈をわが家の玉子焼き担当大臣にします。  
 今度、お父さんの弁当に入れてくれよ。  
 (父)

お父さん、私の玉子焼きが  
 「お母さんをこえた！」って言ったらだめです。  
 私はずれいけれど、  
 お母さんがいじけるよ。  
 私の料理の先生はお母さんです。  
 いろいろ習って、  
 おいしいものをたくさん食べさせてあげるね。  
 (小4 羽咋市)



お父さんへ  
 三月二十五日の能登沖地震。  
 あの時はもう終わつたなと思いましたが  
 でもお父さんはあきらめず  
 家の家具などを  
 一生懸命に直してくれましたね。  
 そんな姿にとっても励まされました。  
 ありがとう、お父さん。  
 (中3 志賀町)

康平へ  
 いや、地震は怖いな。  
 君とお母さんの無事を確かめ  
 ほっとしたのもつかの間、  
 家の中を見てどうしようかと思つたよ。  
 みんなの笑顔が見たくて  
 少しずつだけ元に戻りつつあり、  
 これからも力になってくれ、頼むぞ。  
 (父)



おかあさん、いつもばんやさんのまえでぼくがみえなくなるまでいっぱいてをふつてくれてありがとう。おかあさんがうしろからいっぱいみてくれて、うれしいよ。6ねんせいまでみてほしいな。

(小1 かほく市)

のり、毎朝、お母さんに手を振ってくれてありがとう。入学して1ヵ月半は5歩ごとに後ろを見てバイバイしてたね。今ではとっても遅しい後ろ姿だよ。お母さんはこの朝の5分がのりとの宝物。6年生までずっとみてるよ。

(母)

ぼくは、よるおふとんの中に入っておかあさんの話を聞くのが大好きだよ。ぼくがわるものをやっつけたり、わくわくしながら聞いているよ。でも、ときどきねむってしまうおかあさん、こんどはぼくが話をしあげてね。

(小2 内灘町)

お母さんが作った話を、楽しみにしてくれている事、とてもうれしいね。これからもいっぱい智也にお話をしあげてからね。智也にお話をきかせてもらえるなんて、おかあさん、きつといいゆめ見れそうだなあ。

(母)

知佳、お母さん知ってるよ。知佳が未空や妃成がおふとんけとばしてたら、そつとかけてあげてるのを。知佳は本当に心やさしい子だよ。お母さん知ってるよ。お母さんはいつも見ているからね。

(母)

お母さん知ってたの。だれもしらないと思っていたのに。未空たち、かぜひくかと思つてかけてたんだよ。けんかばかりするけど、みんな大好きだよ。いつまでも、知佳たちを見ていてね。

(小5 志賀町)

いつも仕事をがんばってくれて、ありがとう。ぼくは将来、父さんの仕事をついで、蒔絵師になるのが夢だけど、ぼくは絵が好きなので、マンガ家にもなつてみたいと思う。今はどちらもやってみたいからなやんでいる。

(小6 加賀市)

夜、父さんが仕事をしている時に「おやすみ、お仕事頑張つてね。」と毎日声を掛けてくれる拳士、それが何よりの励みになって嬉しいよ。絵を描く事が何より大好きだし、将来進みたい道を進みなさい。父さんは、応援してるぞ。

(父)

能登半島地震の時、家族の元に居られなくて御免な。お父さんは、災害があると家族より消防の仕事に行かなくてはいけないので、侑汰は、男としてお父さんの代わりに、お母さんや妹を守れるように、守れる強い男になって下さい。

(父)

仕事の時は、すごくつらいよね。自由できないからね。でもお父さんが自分自しんで決めた仕事だから、家ぞくのことには心配しないで下さい。お母さんや妹を守れるようにこれから一生けんめいがんばつてみます。

(小3 穴水町)

お父さん、この間、海で貝とりをして楽しかったね。足でさぐったりもぐったりして大漁だったね！「浜っ子は足の指でとるんだ！」その言葉おもしろかった。海のそばに住んでいてラッキー。また貝とりに連れて行ってね。

(小4 内灘町)

その通り！浜っ子は足の親指と人指し指で砂の中の貝をつかむ！熊手を使うのは邪道だ！響子と貝採りしながら真っ黒に日焼けして貝を探した子供の頃を思い出したよ。ママのおみそ汁もおいしかったね。また絶対行くよ！

(父)

光輝、本当にいつもありがとう。光輝が寝たきりになったじいちゃんの世話を嫌がらずにしてくれて、お母さんは本当に嬉しいです。光輝に感謝しています。優しく、いい子に育ってくれて、ありがとう。

(母)

じいちゃんを大切にするのは、家族だからあたりまえのこと。僕らが小さい時からずっとかわいがつて遊んでくれたじいちゃんだから。今度は、僕が大切にする時です。任せてね、お母さん。

(中2 輪島市)

お母さんに2つのガンがあると聞いて最初はうそだーと思つてたけど、本当はすごく心配してた。入院中は、お父さんと3人で頑張つたよ。そして、お母さんパワーで2つのガンがきれいに消えて、やっぱ強いなと思つた。

(中3 かほく市)

元氣印のお母さんが初めて病気になるって、もしかして43才で死ぬのかなーと思つたら泣けてきたよ。心配かけたね。このことで一日一日、一瞬一瞬を大事に生きようと思つたよ。健康でいることに、ありがとうだね。

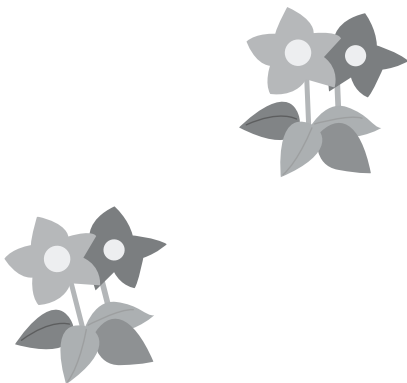
(母)

お母さんはいつも「お母さんが見ていなくても、神様が見ているんだよ。」って言うけど、ウソじゃなかったわ。戸をバシンと締めたら指をはさんだし、お行ぎ悪くしていたらテーブルに頭をゴチン。神様っているんだねえ。

(小4 中能登町)

うん、お母さんも信じてるよ。だからね、誰も見ていなくてもちゃんと神様が見て下さると思う。でも、涼子がいつもだまってるみんなのスリッパをそろえてくれる事は、お母さん神様じゃないけど見てるよ。ありがとう。

(母)



母さんへ 全中出場を決めた時、思わず母さんは泣いていたね。きつと色々迷惑かけたから、余計涙が出てきたんだと思う。こんなに僕のために真剣になつてくれてる人がいて本当に嬉しく思う。これからもよろしくね。

(中3 志賀町)

祐樹の最後まで夢をあきらめないレースに感動して涙があふれました。大きな夢に向かって走り続けた三年間でしたね。また一段高いハードルを乗り越え、あなたらしく走って欲しいです。「感謝の風」を感じながら。

(母)



誕生日に  
自転車がほしいと言ってた達貴。  
それが突然、  
ポロポロになってる  
お兄ちゃんのお下がりに乗る  
って言うからビックリ。  
物を大切にしようと思いだめたのかな？  
その気持ち大事だよ。  
(母)

ぼく、  
おにいちゃんが大きすぎだから、  
ポロポロのじてんしゃだけど  
ちよっとしゅうりすれば  
まだまだのれるよ。  
もうすこしおにいちゃんのじてんしゃを  
ぼくがたんとおにいちゃんのじてんしゃを  
おにいちゃんありがとう。  
(小2 津幡町)

のり、  
この間お父さんが寝たふりをしていると、  
真子のど湯いた？ お茶飲む？  
と、妹に優しく接している声が聞こえ、  
微笑ましい姿に  
とても胸が温かくなったよ。  
また、心温かいのりを発見できたらいいな。  
(父)

ぼくは  
お父さんやお母さんがいない時なら  
お兄ちゃんらしくできるよ。  
妹がうまれてから  
色々なきもちになったので  
あまりやさしくなれなかったよ。  
人前でやさしくするのは、  
はずかしいけど  
ぼくの妹だから大じにするね。  
(小2 かほく市)

お母さん  
毎日学校から帰って  
お母さんの書いた手紙を  
読むのが好きだよ。  
ぼくは今日のおやつとメニューの所が  
好きだよ。  
少し走り書きで書いているのに  
ぼくの似顔絵は忘れないお母さん。  
ぼくのすねた顔はけっ作だよ。  
(小5 金沢市)

そっかあ、楽しみにしてくれてるんだね。  
帰ってきて仕事でいなくて  
ごめんね。  
夕ごはんは一生懸命作るからね。  
健太やお姉ちゃんのこと  
愛しているよ。  
似顔絵もうちよつと  
うまくならないかなあ。  
(母)

お母さんの手をにぎるといつも冷たいね。  
いつも水仕事をしているから？  
だけど、時々、私の事ぎゅってする時、  
すごく手が温かいね。  
どんなに水仕事で手がガサガサになっても  
私は温かい手を持つてる  
お母さんが大好き。  
(小6 能美市)

水仕事をしているから、  
冷たくてガサガサした手なんだよ。  
でも、尚生を「ぎゅっ」とする時、  
不思議と温かくなってるんだね。  
尚生の事、好きだから、  
これからもいっぱい、  
ぎゅっ、ってするからね。  
(母)

侑香、知ってる？  
お母さんのかばんには、  
侑香が作ってくれた小さなお守りが、  
いっぱい入ってるんだよ。  
このお守り、持つてるだけで  
安心するからすごいよ。  
まるでまほうのお守りだね。  
教えて！  
中みは一体なに？  
(母)

それはね、  
お母さんが交通事こにあわないように、  
心をこめて作ったものなんだよ。  
中みを知りたい？  
でもお守りなんだから、ひ・み・つ。  
またいっぱい作ってあげるからね！  
大きなお母さん、  
長生きしてね。  
(小3 金沢市)

ぼくは、3年生。  
何でもできる。  
何でもできる。  
るす番もこわくない。  
学校から帰って来ても、  
お姉ちゃんと犬のマロンもいる。  
おなかがすいてもオニギリも作れるよ。  
だから安心して。  
お母さんが帰るまでは、大人になった気分なんだ。  
(小3 宝達志水町)

留守番もできるし、  
力仕事もドンと来い。  
君は、とても成長し、  
頼りになるよ。  
トラックドライバーのお父さんは、  
あまり家に居られないから、  
我が家の唯一の男子の君。  
これからも  
お母さんの事を助けてね!!  
(母)

花奈が鍬をじょうずに扱い、  
田んぼの畔ぬりをしたのにはびっくり。  
その姿が一人前で頼もしく見えました。  
お父さんと顔を見合わせ  
思わずニッコリ。  
いつか故郷を離れることがあっても、  
わが家の米の味は忘れないでね。  
(母)

私は、田植えも稲刈りも好き。  
お父さんやお母さんとすると楽しいし、  
喜んでもらえるのがうれしい。  
お父さん、お母さんが年を取って、  
田んぼができなくなったら、  
私にまかせてね。  
今から修業しておきます。  
(小6 羽咋市)

いつも家ではダラダラなお父さん。  
でも、ちゃんと知ってるよ。  
仕事では人一倍真面目で  
プライドも捨てて家族のために  
お客様に何回も頭を下げていること。  
お父さんは強いです。  
ホントにありがとう。  
(中3 かほく市)

お父さんは、  
今の仕事をちゃんと誇りに思っているよ。  
それに、仕事であった嫌なことなんて  
家に帰ってくれば消えていて、  
どうでもよくなるんだよ。  
でも、そんなこと  
知っててくれることが嬉しいです。  
さすがだよ。  
(父)

ママのアレルギーがひどくなって  
救急車で運ばれた時、  
ずっと泣いていたと聞いたよ。  
心配かけてゴメンネ。  
でも心配してくれる家族がいるって、  
幸せだなと感じたよ。  
もうエビは食べないから、  
見張るのはやめてね。  
(母)

あの時は、  
ママが死ぬんじゃないかと思って、  
とてもこわかったよ。  
入いんしているときも心配で  
おりこうさんになりますから  
とお願ひしていたよ。  
いくら好物でも  
ぜっ対にエビは食べちゃダメだよ。  
見はっているよ。  
(小4 川北町)



「じいちゃんの足になってあげよう。」  
光輝の言葉を聞いた時、  
じいちゃんも、ばあちゃんも泣きました。  
春にはお花見。  
夏には花火。  
秋は紅葉。  
冬は雪かな。  
いろんなところに、  
連れて行ってあげようね。  
(母)

じいちゃんの体が動かなくなり、  
寝たきりの生活になったと知った時、  
とても悲しい気持ちになった。  
じいちゃんがいなくなるように、  
心が痛かった。  
大切な、大好きなじいちゃんのために、  
手にも足にもなつてあげるよ。  
(中3 輪島市)



ずっと  
「大きくなったら夜勤のない仕事をする。」  
と言っていたのに、  
「将来の夢は看護師。」  
と文集に書いてあったのを見て  
泣いてしまったよ。  
いつも寂しい思いしてるのに。  
お母ちゃん、  
これからも看護師でいていいかな？  
(母)

だって、わからないけど、  
なろうとおもったんだよ。  
おかあちゃんがよくないけども、  
おとうちゃんとかれんがいるから  
だいじょうぶだよ。  
おかあちゃん、  
ずっとかかんごしさんしていいよ。  
あの人もかかんごしさんしていい？  
(小1 金沢市)

おかあさん、  
いつもおしごとがんばっているね。  
ななが学校からかえってきた  
「ただいま」って言って  
じぶん「おかえり」って言ってんだ。  
やっぱりかえったらおかあさんがいないと  
さびしいな。  
きょうないちゃった。  
(小2 羽咋市)

家に帰ると  
笑顔で「おかえり！」って  
飛びついてくる奈菜に  
いつも癒されているよ。  
明るくしてるけど  
やっぱりさびしかったんだね。  
休みの日は、  
奈菜が楽しみにしているピアノ  
たくさんしようね。  
(母)

母の日に、  
いつもあげているマッサージュ券。  
ためていくのもいいけど、  
たまにはつかってね。  
仕事でつかれてるんだから、  
つかれをとって休んでね。  
弟のことはまかせなさい！  
(小6 小松市)

伊織のマッサージュは世界一。  
だけど券は使えません。  
昔、お母さんも  
お手伝い券を作ったことがあります。  
同じようにお母さんのために  
作ってくれたと思うと、  
うれしくてうれしくて。  
お母さんの宝物だから使えません。  
(母)

いつも、  
畑で新鮮な野菜をつくってくれて  
ありがとう。  
おばあちゃんのきゅうりやトマトは、  
お店の野菜とは一味違って、  
おいしいです。  
おばあちゃんの心が  
つまってるからだと思います。  
でも体には気をつけてください。  
(小6 志賀町)

大生が、  
体も心も大きく  
成長してくれることを思いながら  
野菜を作っています。  
太陽や水の恵みで野菜は育ちますが、  
大生も家族やまわりの人から  
沢山の恵みをもたらしているんだよ。  
名前の通り大きくなって下さい。  
(祖母)

遼、五月の連休、  
スイカやカボチャ植えの手伝い、  
毎日してくれてありがとう。  
運ばん車の運転すごく上手で  
大人みたいだったよ。  
さすが男の子!! たよれる男!!  
かっこよかったよ。  
お昼は山でみんなでお弁当。  
楽しかったね。  
(母)

おかあさん、  
そうおもってくれてたんだね。  
ありがとう。  
夏もスイカとるの手つだうよ。  
カボチャの出かもまちきれないね。  
いっしょにがんばろうね。  
おばあちゃんもよろこぶかな。  
大きいシヤケマヨおにぎり作ってね。  
(小3 穴水町)

私ね、  
お父さんが仕事から帰ってきた時の  
におい、大好き。  
いっぱいがんばってきた、  
かっこいいにおいだと思うよ。  
だから、すぐおふろに  
行かなくてもいいよ。  
おふろは後回しにして、  
いっぱい話したり遊んだりしようよ。  
(小4 小松市)

お父さんは仕事で汗だくになるから、  
汗くさいぞ。  
けど、舞桜がいいんなら、そうするぞ。  
お父さんも、  
もっと一緒にいっぱい遊びたいと  
思ってたんだ。  
おフロは舞桜が寝てからにするぞ。  
いいよね？ お母さん。  
(父)

毎日、弁当箱をあける瞬間、  
ドキドキします。  
お母さん、料理苦手なの知ってるから。  
でもまあ、今日も上出来。  
ひと味たりない玉子焼。  
その分「形」は芸術的で、  
いい味だしてるよ(笑)  
ありがとう。  
6年間残さず食べるね。  
(中1 金沢市)

同じ頃、お母さんも同じ中身のお弁当箱を  
会社であけています。  
わかってたよ。  
今日の玉子焼も  
「形がヤバイ」って笑ったでしょう？  
でも毎晩必ず手渡しで返してくれる、  
空のお弁当箱に  
「ありがとう」が詰まってる気がするよ。  
(母)

「ただいま」  
と、私が帰ってくると  
「おかえり」  
と、最初に聞こえるのは  
おばあちゃんの声です。  
おばあちゃんの温かい声が大好きです。  
いつまでもその声を聞かせてね。  
(中1 志賀町)

最終バスで帰ってくるあなたを、  
畑仕事をしながら待っています。  
部活で疲れていても、  
元気で駆けてくる足音と、  
「ただいま」の声に  
ほっとします。  
明日もここで待つとるからね。  
(祖母)

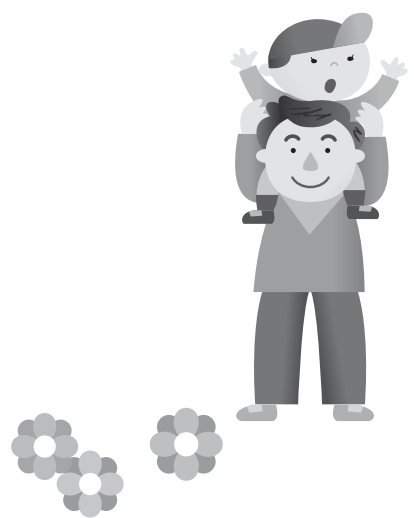
母の日にくれた、  
折り紙のカーネーション。  
とても上手にできていて、  
ビックリしたよ。  
お花を買えなかったからというけど、  
紗栄華らしさがでていて、サイコーです。  
だって世界でたった一つだけだもの。  
大切にするね。  
(母)

紗栄華はお花が買えるお金がなかったから  
折り紙にしたよ。  
自分では80点のプレゼントだけど、  
お母さんが  
「世界でたった一つだけ」  
と思っていたなんて知らなかった。  
今度もそう思ってもらえるような、  
プレゼントを作るね。  
(小4 宝達志水町)



「ありがとう」とか  
「感謝します」とか  
「大好き」とか  
「素直になれなくてごめんね」とか  
そういうことは絶対書かんし!  
だって、どうせまた母さん、  
それを額縁に入れて  
目立つ所に飾ったりするんやろ!?  
(中2 白山市)

当然、飾ります。  
専業主婦の母さんにとって、  
幸ちゃんの存在は  
唯一の勲章であり、賞状です。  
家に来る人くらいに  
自慢したっていいがいね!  
ああ、素直に  
「母さん大好き」と  
手紙をくれたあの頃にリセットしたい…  
(母)



ぼくが、わるいことしたとき、ライオンみたいな大きなこえでおこるよね。びつくりするけど、はんせいしているよ。やさしい時はねこみたいに、ふわふわしているよね。いろいろへんしんするおかあさんが、大すきだよ。

(小2 津幡町)

手がみありがとう。思わずふきだしてしまったよ。そうかあ、おかあさんは、ライオンかあ。涼平のそんなすなおなところが大すきです。よかったー

(母)

わたしが、「お母さん。」となやみを言うのと、何でも答えてくれる。いつも、心が見えていて、わたしの道をいつも作ってくれる。やっぱりお母さんは、すごいね。すてきな毎日がありがとう。わたしの半分はお母さんだよ。

(小4 金沢市)

真侑子を見ていると、自分が少女だった頃を思い出します。お母さんもあなたと同じようにおばあちゃんからいろいろ教わったわ。その時のうれしかった気持ちを、あなたも感じているなんて、お母さんも幸せです。

(母)

剣道の大会で負けた時、くやしくてなみだがとまらなかつたよ。でも、きちんと最後に、「ありがとうございました」って礼をしたよ。お父さんいつも勝ち負けより大切だって言ってるもんね。これからもがんばるよ。

(小4 宝達志水町)

試合で負けて泣いたのは、初めてだね。よっぽどくやしかったんだな。お父さんもくやしかったよ。でも、最後まで堂々と礼をする姿を見て、とてもうれしかったんだ。成長したね。龍樹のこと、ほこらしく思ったよ!

(父)

悠真が汗いっぱい流して元気に「ただいま」って帰ってくるのを、お母さんはそわそわして待っているよ。汗の臭いが今日の悠真ががんばったしるしだよ。明日はどんな汗かなあ。嬉しい汗かなあ、くやしい汗かなあ:

(母)

ぼくも今日学校でがんばったことをおかあさんに言いたくて、はしってかえってくるんだよ。いつも「ゆうまがんばったね。」って聞きたくてあせいっぱいにかえってくるんだよ。おかあさんがよろこぶあせをかきたいな。

(小2 志賀町)

仙台にいるパパへ生きていてくれてありがとう。東日本大震災でお父さんもお母さんもなくした子どもがたくさんいます。でも、パパは無事でよかったです。茅はとも幸せです。パパもがんばるから、パパもがんばってね。

(小4 金沢市)

茅へ震災のときは心配かけたね。命があつて、また家族に会える。本当に幸せだなあ。やさしい子に育ってくれてうれしいよ。茅の思いやりがパパの支えだ。復興に向けてがんばるぞ!! 茅も夢に向かってがんばれば!!

(父)



息子と一緒に「楽器を演奏したい」とはじめたトランペット。楽器未経験のお父さんに、リズムや音階を教えてくださいありがとうございます。吹奏楽の演奏会で一緒にステージで演奏できて感動した。これからもがんばるからな、先輩!!

(父)

お父さんがトランペットを買った時は、「どうせつづかんやろう」と思っていたけど、毎日仕事の休み時間に練習して、すごい高い音まで出せるようになったね。とてもびつくりしたよ。これからもがんばって、お父さん。

(小5 羽咋市)

いつも元氣バリバリのお母さんは、まるで子どもみたい。でも、夜中に一生懸命働いているのを、俺は寝たフリをして、見ているんだよ。俺が立派な大人になるまで、これからもヨロシク頼むよ。いつも、ありがとう。

(中1 金沢市)

三人姉弟の末っ子で、ちっちゃかった君。いつのまにか、目線が母と同じ高さになりました。まだまだ「ガキっちょ」と思っていたのに、中学生になったら、すっかりお兄ちゃんらしく。これからは、母が君を頼りにさせてね。

(母)

東日本大震災から四ヶ月が過ぎましたね。当日は、二人きりでした。迫りくる津波にあなただけでも助けたいと、ただそれだけを考えていました。今、元氣になったあなたの姿を見て、明るい未来が来る事を願っています。

(母)

東日本大震災から四ヶ月が過ぎて、新しい生活や学校にも慣れました。もうすぐ夏休み。学校から、自主学習講座学習計画表が渡され、その内容と量の多さに驚きましたが、できるだけ頑張りたいと思います。

(中3 かほく市)

お姉ちゃん! いつも一生懸命歌の練習をしているのに「ヘタクソ!!」しかいわなくてごめん。でも本当は心の中では「スゲェー!!」って思ってる。と中で辞めるなよ。大変だけど絶対夢をあきらめな。

(小6 内灘町)

りゅうの「ヘタクソ!!」はスゴク傷つく。でもそれって聞いてくれとるって事やよね。嬉しい。今はまだ夢の途中だけど本気で「スゲェー」って言わせてやる。夢が大きくふくらんだらりゅうも一緒にその夢に乗せてあげる。

(姉)

毎朝、私が学校へ行くときに背中を3回たたいて、「行ってらっしゃい」っておまじないしてくれるよね。あれやってもらうと、今日もきつといい一日だ! ってなんでか分からんけど自信が出てくるよ。ありがとう。

(中1 かほく市)

「頑張れ!頑張れ!頑張れ!」お母さんの頑張れ攻撃にも、文句も言わず一生懸命頑張ってるね。ちゃんと報われるいい一日でありますように: : : なつが笑顔で帰ってきますように。

(母)



ぼくのムシ。ぼくにはいろいろなムシがいるよ。うれしいときのムシ。おこったり、ないたりするムシ。おなかですいたらなくムシもいるよ。でも、パパとあそんでいるときのわらうムシがいちばんすきだな。

(小1 かほく市)

(父)

にゅうがくきねんにうえた木。わたしとおなじたかさだったのに、ひりょうとみずをあげたり、おかあさんが「大きくなあれ」とやさしくするから、わたしよりたかくなつたよ。わたしにももっとやさしくしたら、おいこせるよ。

(小1 志賀町)

葵音には、木以上に愛情を注いでいるんだけどなあ。これからはやさしさアップしてみるよ。ごはんもいっぱい食べて、木に負けないように、大きくなあれ。葵音の大好きなピンク色の花が、いつ咲くか楽しみだね。

(母)

お父さん。東日本大しん災の時、もうすぐで津波がくるというのに、わたしのために迎えに来てくれて、うれしかったよ。お母さん。津波にのまれながら、いっしょに乗っていた老人を助けたね。二人は自慢の両親です！

(小5 かほく市)

震災の時には、本当に怖い思いをしましたね。連絡も取る事ができず、無事なのかどうかわからない、不安な時間を家族が色々な場所で過ごしていました。あなたの元気な顔を見た時には、涙が止まりませんでした。

(母)

いつも反抗して、ごめんなさい。このごろのぼくは、自分の考えで進めたいと思ってしまうんです。でも、自分一人で生きていけないことは、よく分かっているよ。いつもぼくのことを考えてくれて、ありがとう。

(小6 小松市)

泰輔が小さい頃は、なんでも素直に返事をして、かわいかったなあ。今は、理屈っぽいことを言ったりするよね。でも、反抗も成長の証拠だから、私は、そんなに気にしてないよ。これからもがんばって自己主張してね。

(母)

おかあさん。まい日ねるまえに、本を読んでくれてありがとう。ひかるは、おかあさんのおいのついたふとんに入って、本を読んでもののが、本をよんでくれるの、これもちよくてうれいす。これからも、ずっといっしょにねようね。

(小2 小松市)

(母)

びっくり！ うれしい！ 授業参観！ 優里が、あんなに勢いよく手を挙げるなんて。背のびして、「あてて。」って、アピールするなんて。家での、のんびり、まったり優里からは、想像できない姿に感動！！外では、がんばっているんだね。

(母)

あたり前だよ。学校じゃ、ちゃんとやってるよ。家だったら、ついついママにあまえちゃう。だっこもおんぶもしてほしい。「重いから、やだ。」って言わないでよね。ママパワーをくれないと、学校でがんばれないぞ！！よろしく。

(小3 羽咋市)

幼いころに言ってくれた「生まれてきてくれてありがとう」という言葉を覚えていきますか。この言葉は、私が生きてきて、一番うれしかった言葉です。直接には言えないので、手紙を通して言います。「私を産んでくれてありがとう。」

(中1 白山市)

あなたが産まれてきてくれた事を、いつも感謝しています。突然の出血で入院する事になりました。お腹の中で必死に、生きようと頑張ってくれたから、今、素敵な毎日をおごす事ができます。「生まれてきてくれてありがとう。」

(母)

くやしくて泣いている時、いつもそばで背中をさすってくれて、ありがとう。でも、今度は私の番だよ。自分のことしか考えず、泣き虫な自分を卒業して、お母さんに寄りそって支えてあげられる人になりたいです。

(中2 志賀町)

我慢して一人で泣かずに、お母さんを頼ってくれてありがとう。優の悔しさ、辛さ、悲しみは半分お母さんがもらうよ。半分は、優のこれからの人生に必要な栄養だと思おうから、残しておくね。お母さんが頼った時は、よろしくね。

(母)

ママはいつも、まいがないたら、なぐさめてくれる。「だいじょうぶ、心配ないよ。」ってね。ママのやさしい言葉と声を聞くと、ちよっとだけ元気になるよ。思い出したらちよっぴり、なみだが出てきたよ。

(小4 小松市)

(母)



テストの凡ミスでヘコんでいる時、「失敗は成功の素、酸っぱいは健康の素」と、くだらないダジャレを言って、僕の嫌いな酢の物を出すのは、やめてください。でも、食べた後は、さわやかな気分になるから、不思議です。

(中3 志賀町)

(母)



おかあちゃん、ありがとう。  
 ぼくは、ねるまえの  
 え本のじかんが大好き。  
 こころをこめてよんでくれるから  
 うれしいよ。  
 どんなおはなしか  
 いつもわくわくするよ。  
 とぎどきなくときもあるよ。  
 ずっとずっとよんでね。  
 (小1 能美市)

おかあちゃんも、  
 まいにちのえ本たいむが大すき。  
 いままでなんさつの本にであつたかな。  
 ふたりでないたこともあつたね。  
 やさしいきもちや、  
 つよいこころもまなんだね。  
 ずっとこのじかんを  
 大じにしていこうね。  
 (母)

やきんでいないとき、  
 いっしょにねれなくてさみしいよ。  
 でも、おかあさんの  
 かんごしさんのせいふくすがた、  
 かっこいいよ。  
 おしごとがまんばつてるから、  
 わたしもがまんするね。  
 こんどまた、かたたたきしてあげるね。  
 (小1 羽昨市)

いつも  
 「今日一緒に寝れる？  
 明日は？ 明日の明日は？」  
 って聞いてくるね。  
 それがすごく愛おしいです。  
 時々夜勤のない仕事を選べばよかつたかなつて  
 寂しくなるけど、  
 夢乃の笑顔を見たら、  
 また頑張る元氣わいてくるよ。  
 (母)

おこらんといてや。  
 母さんて何かに例えるとしたら  
 イノシシ、カミナリ、真夏の太陽。  
 おこる時も笑う時もいつでもすごいパワーや。  
 そんな母さんに  
 「圭佑だいじょうぶや。」  
 って、背中を押されたら  
 勇氣がわいてくるわ。  
 (小6 金沢市)

なるほどね、圭佑。  
 大事な子供やから  
 魂込めて育てとるんや。  
 よく、きつく言いすぎるけどね。  
 それはゴメン。  
 そろそろ声がわりをして、  
 反抗的な態度もとる？  
 いいよ。どんな成長過程も楽しみ。  
 圭佑、何があつても大丈夫。  
 (母)

試合で負けた日、  
 真つ暗な部屋で一人  
 グローブを磨いていたね。  
 母さん声をかけてあげられなくて  
 ごめんね。  
 打たれても打たれても  
 歯をくいしばって投げている姿に  
 母さんは元氣をもらっているんだよ。  
 沢山の感動をありがとう。  
 (母)

試合に負けた日、  
 母さんは何も言わないね。  
 そのかわりにぼくの大好きな  
 カレーライスを作ってくれている。  
 たくさん食べて  
 次はがんばろうって力が出るんだ。  
 ぼくも母さんのカレーライスに  
 元氣をもらっているよ。  
 (小6 内灘町)

ドキドキした初めての相撲大会は、  
 一回で負けて残念だったね。  
 でも、  
 真諒の普段の負けず嫌いに敢闘賞を、  
 お手伝い名人に技能賞を、  
 優しさで気遣いに最優秀選手賞を  
 贈ります。  
 妹に遠慮せずに  
 自分の思いをぶつけてね。  
 (母)

大すきなおかあさんに  
 三つもしょうをもらえて  
 さいこうにうれしいな。  
 いつも妹のことばかりかまっていたから、  
 ぼくのことを  
 きらいなかなって思ってたよ。  
 でも、ちがうみたいでよかつた。  
 これからも、おうえんしてね。  
 (小2 志賀町)

ひかちゃんは、  
 なんでひかちゃんか、知ってる？  
 輝という字は  
 まわりを明るくするという意味なんだよ。  
 パパのお仕事が海外になつて  
 おうちが少しさみしくなつたけど、  
 ひかちゃんの明るさが  
 名前のとおり太陽みたいだよ。  
 (母)

へえ！  
 輝っていう字は、  
 まわりを明るくするんだ。  
 だからわたしって明るいんだね。  
 パパがいなくて、さみしいけど  
 お兄ちゃんは、あそんでくれるし  
 さみしいのわすれちゃうよ。  
 ママも明るい太陽だから  
 二つの太陽だね。  
 (小3 白山市)

入学してからずっと  
 私が家を出る時、見送りしてくれてる。  
 中学生にもなつて少しはずかしい。  
 でも、それが私の中の一日のはじまり。  
 その笑顔でほつとして、  
 前向いてって背中押す。  
 なんだかがんばろうって思えるんだ。  
 (中1 羽昨市)

小学校から続いている朝の見送り。  
 中学生になつたんだから  
 終わりにしようと思つたけど、  
 笑顔で  
 「いってきます！」  
 って言う  
 ひなたから元氣をもらっている。  
 今日仕事頑張ろう！ って、  
 お母さんの一日が始まるんだよ。  
 (母)

いつも「勉強したん？」とか  
 いろいろ言ってくれるけど、  
 うるさい！ とか言つてごめん。  
 本当は、言ってくれて、  
 けっこううれしいよ。  
 でも何回も何回も言われたら  
 むかつくから、一回だけにしたい！  
 お願いします。  
 (中3 野々市市)

アハハ！  
 これでもか何回もしつこく言うの  
 お母さんの悪いくせだね。  
 達也の事を思うあまり  
 そうなっちゃうんだけど、  
 今度から重く一回だけ言うようにするよ。  
 目標に向かつて  
 がんばっているのえらいよ。  
 応援しているよ。  
 (母)

パパ、ばあちゃんが二回目に  
 救急車で運ばれた時、  
 オレ、おろおろのママ助けて、がんばつたよ。  
 本当にはあちゃんが元氣になつてよかつた。  
 ママ、ないてんよ。  
 あれがまさしく  
 「オニの目にもなみだ」  
 って言うんだね。  
 (小4 かほく市)

時悠、ママから、  
 時悠がいてくれて助かつたつて  
 メールが来てた。  
 ありがとな。  
 今回初めて、親の老いを知つたよ。  
 お前のママと同じ、  
 パパにもたつた一人の母親だし心配した。  
 鬼ね。(笑)  
 ばあちゃんにも昔、角あつたぜ。  
 (父)



お母さんは、  
 私の考えていることを  
 何でも当ててしまいます。  
 何ですか？  
 心が読めるんですか？  
 でも、だからこそ  
 どんなことでも話せるんだと思います。  
 やっぱりお母さんには  
 かなわないなあと思います。  
 (中3 野々市市)

そうです。  
 超能力があるんです。  
 ただし、優花と優菜の  
 心しか読めないけどね。  
 おなかの中では、  
 へその緒で繋がつてたけど、  
 今は、心が繋がっているのかな。  
 これからも、  
 一番の理解者でいたいと思つてるよ。  
 (母)



ママとこのまえ、テレビを見ていたら、アナウンサーの人が、「ハムとソーセージが高くなります。」と言っていたよね。わたしは、ママがかわいそうだなあと思って、おこづかいの中から、五円あげたよ。

(小2 金沢市)

自分のおさいふから、なやんで五円をもって来てくれた時、ママは、すっごくかんげきしたんだよ。でも、せっかくくれたのにキーホルダーにして取っておきたくなっちゃったの。あかりのやさしさ一杯の五円だから使えないの。

(母)

おかあさんのかんごしさんの手は、まほうの手みたいだね。けがやびょうきをしたとき、おかあさんの手でなでてもらったら、すぐになおってしまふよ。ふしぎだね。これからも、まほうの手でいっぱいびょうきなおしてね。

(小2 羽中市)

お母さんも、夢乃に魔法をかけられています。どんなに疲れて帰っても、夢乃のかわいい笑顔を見たら、元気百倍になるよ。不思議だね。だから、夢乃が病気になったら困るんだ。これからも、魔法の笑顔ちょうだいね。

(母)

和希。お父さんが二月に亡くなり、とても淋しい思いをさせているのに、明るく、そしていつも笑顔で、お母さんを支えてくれてありがとう。今では、小さなしっかりお父さんで、お母さんは和希の事頼もしく思ってるよ。

(母)

お母さん。ぼくもお母さんがいるからがんばれるし、今をがんばるという希望を持つ事ができるんだよ。今は小さなお父さんだけど、大きくなったら、今よりもっと、頼れる人になりたいと思ってるよ。一緒にがんばろうね。

(小5 志賀町)

お父さんが単身ふ任になって、ぼくは強くなろうと決めました。お母さん、ぼくは自分の事は自分でするし、できない事があたら頼ってね。パンクも直すし、ゴキブリだってやつつけます。一緒に留守番ファイトだぜ!

(小6 小松市)

ありがとう。礼龍は目に見えて強くなっているよ。何にも言わなくても手伝ってくれるし、三十キログラムのお米も運べるようになったしね。お父さんもお盆に帰って来るのを楽しみにしてるって。一緒に留守番頑張ろうね!

(母)

四年生の運動会のおべん当に、のりで「がんばれ!」って書いたおにぎりを作ってくれたよね。あの時とつてもうれしかったよ。お母さんが作ってくれるおべん当を食べると、なぜだかとても力が出て元気になれるんだ。

(小4 小松市)

それはね、秘密のスパイスが入っているからだよ。お母さんにとって、一番の宝物であるあなた達二人のお弁当を作る時だけにしか出せない、世界でたった一つの「愛」という名の究極のスパイスなんだよ。

(母)

最近、ぼくの弁当箱が小さくなってきたから、二だん重ねの大人の弁当箱にもらって、二人で「サラリーマン弁当箱」って、よぶことにしたよ。大きくて、重くなった弁当を開けるのがまたまた楽しみです。

(小4 穴水町)

この頃「弁当、足りんなあ。」と言われてうれしかったです。心も体も大きくなり、ついにお弁当箱まで大きくする日が来ましたね。これからも「サラリーマン弁当、最高。」って思ってもらえるように作るからね。

(母)

不安ときんちようで、押しつぶされそうだった試験の日。お弁当の中に入っていた手紙。広げてみると、奈穂ががんばれ、だって。とても安心したよ。お母さんは、大事な時にいつも力になってくれてるね。うれしいよ。

(中1 白山市)

奈穂がお母さんの手紙で安心できて、よかったよ。大事な時に自分は一人じゃないって思えると、心強いよね。これからも、こころいよ時は力になるよ。お母さんもおばあちゃんから、今でも力をもらっているように。

(母)

六年生のとき、俺はすぐ物にあたっていた。何かされたわけでもなくただイライラして。そんな時、お母さんが困っていた。泣いていた。でも、もう大丈夫。自分に正直になれた。お母さんの涙はもう見たくない。安心して。

(中1 内灘町)

ふとした時、凜とした恒輝の背中を見て、(ああ、もう大丈夫。)

そう思いました。いつの間にか私より大きくなったその背中。少し迷いがとれたその背中。自信に満ちていて立派だよ。温かい涙をありがとう。

(母)

母の日にプレゼントした一輪ぎしの内しよ話があるの。あれね、お母さんにあげたいって言ったら、九谷茶わん祭りのお店のおじさんが五百円おまけしてくれたんだよ。だからその五百円でカーネーションも買ったんだよ。

(小5 金沢市)

九谷焼きの一輪挿し、ありがとう。とってもセンス良くて、お母さんのお気に入りだよ。しかも、おじさんとのそんなほっこりエピソードがあったんだね。それも含めて大切な大切な一輪挿し。今日は何を生けようかな。

(母)



引退が決まってしまった六月二十一日。悔しくて悔しくて涙がとまらなかつた私に、「縁の下の力持ちで頑張ったね。」って言ってくれたね。涙はおさまらなかつたけど、心の荷物は軽くなったよ。

(母)

(中3 志賀町)

ずっと一生懸命に頑張ってきたのに最後になってレギュラーをはずされた。終わりを見届けようと向かった会場で見たのは、声を枯らしながら仲間を支える娘の姿だった。優衣さんとっても立派だったよ、えらかったね。



おとうとが生まれたとき、うれしかったよ。でも、ママがにゅういんで、ずっといなくてさみしくて、えれべーたーがしまるとき、一かいないてしまったよね。おとうともすきだけど、たまにままとふたりで、でかけたいな。

(小1 野々中市)

(母)

まゆが生まれたとき、やつとあえたあかちゃんにうれしすぎて、ママはきったおなかも、ぜんぜんいたくなかったんだよ。おねえさんになって三ねん。がまんさせちゃうこともおおかたけど、こんどふたりでデートしようね。

(小1 志賀町)

(母)

おかあさん、よくおこるね。おこられると、からだがぎゅとなって、めからなみだがでるよ。でも、そのあとおかあさんがぎゅうてすると、ふわふわとなるよ。おかあさん、だからだいすきだよ。

(小1 志賀町)

(母)

和夏の目からなみだがぼろぼろっておちるのを見ると、おかあさんのおこりんぼスイッチは、オフになるみたい。ぎゅうのだっこにこめた、「ごめんね」と「だいすき」のきもち、どうかたたくさんつたわりますように。

(小6 小松市)

(母)

あなたが生まれた時、ママの耳が聞こえないハンディをどう理解してくれるか心配だったけど、逆にママの耳のかわりにいつも助けてくれて嬉しいな。優しい娘で良かったヨ。ママの娘に生まれてきてくれてありがとうね!!

(小6 かほく市)

(母)

この前読んだ本、お母ちゃん途中で泣いちゃったね。つなみで子どもをなくしたお母さんの話は、先が読めないくらい言葉が詰まったよ。毎日、そう大たちとられるだけで、しあわせなんだって思えて、またなみだが出たよ。

(母)

(母)

ぼくも、この絵本を読んで、すぐかなしくなったよ。つなみで、ぼくと同じ年の子どもたくさんなくなっただね。ぼくは、だれともはなれたくないなと思ったよ。家族みんなが元気でいるのは、一番しあわせなんだね。

(小3 能美市)

(母)

がんばり賞  
あなたは、六日間びょういんにいて、赤ちゃんをうむのを大へんよくがんばりました。これからも、しっかり赤ちゃんをそだててください。ここに賞します。

(小3 七尾市)

(母)

退院の日に、思いがけない表彰状。孝太のすてきなアイデアに、むねがあつくなりました。みんなで待ちに待った赤ちゃんのたん生。母なりにしっかり育てたいと思います。応えんよろしくね。

(母)

(母)

中学生になって、いろいろ忙しくなってきたから自分と人を比べて自分の悪いところを探さようになってきました。そんなとき「人はみんなちがう。」と、母が言ってくれたから、初心を取り戻せた気がするよ。頑張るね。

(中1 野々中市)

(母)

他人と自分を比べるのは、心が成長している証拠だと思うよ。人には人の、あなたにはあなたの、良い所があるのだから、良い所を探るのではなく、良い所を探して自分を大切にしていってね。これからも応援してよ。

(中2 金沢市)

(母)

授業参観の時、必ず友達に言われる一言。「お母さんにそっくりだね!」そんなにお母さんに似てるって思わないけど、でも、本当に似てるなら、見た目だけじゃなくて、心とか優しいかも。お母さんみたいになりたい。

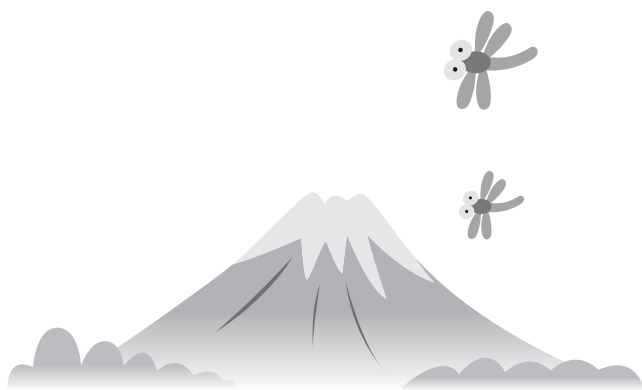
(中2 金沢市)

(母)

願い事一つ叶うとしたら天国のじいちゃんに会いたい。大きくなつたよとか、色んな話してあげたいって言ったら、ママが泣いたからビックリした。嬉し泣きだよって言ったから、ホッとしたよ。大人って嬉しくても泣くんだね。

(小5 輪島市)

(母)



私が学校へ行かなくなったのは一年の時だったね。ママは毎日心配して話を聞きにきてくれたけど、私は一言も話さなかったね。それでも毎日聞きにくるママに負けて話したら心が軽くなったよ。今は笑顔で登校できてるよ。

(中3 金沢市)

(母)

(母)



朝からせっせと飲み物を用意してたすみれ。えがおでもってきたコップには、二本ストローがささってたよね。「お母ちゃんと一緒に飲みたかったの。」かわいくて、うれしくて、コーヒー牛乳が、何倍もおいしく思えたよ。

(母)

おかあちゃんといっしょになかよくのみたかったんだよ。おかあちゃんが、「ありがと。」

「あったからすみれもうれしかったよ。ふたりでんだら、いつもちがうあじがしたよ。また、いっしょにもうね。」

(小1 能美市)

「ママみて。」

「いってよぞらのほしをゆびさす幸樹。」

「きょうもパパがみてるよ。」

「いわれていつもむねがあつくなるよ。」

「パパは、幸樹のすがたをきつとみているから。これからもいっしょに。」

「たくさんのおはなししようね。」

(母)

「パパがそばにいないのはさびしいけど、ママががんばっているのをしているから、ぼくもがんばるよ。」

「しゃんのパパはいつもわらっているよ。パパはみてるよね。」

「だからママ、これらからいっぱい。」

「わらっていいこうね。」

(小1 かほく市)

ときどき

お母さんとかに言われること。

「身長高くなったなあ。もうすぐ抜かされそうやな。」

「ぼくは、父親似だから身長が高いけど、心も少しずつ成長していることを知っていますか。」

(小5 能美市)

「ずっと前から、康太に背が抜かれたらムギユツとするのを止めようと思っていたので、身長が気になるのです。」

「泣き虫康太が段々強くなっていることも分かってる。だからもう少し、母さんのムギユツつき合ってください。」

(母)

学校へ行く時は、「がんばってね。」

「帰ってきたら、今日は楽しかった？」

「今日毎日、言ってくれるよね。」

「お母さんからすると何気ない言葉かもしれないけど私にとっては元気をくれる魔法の言葉。これからもよろしくね。」

(小6 金沢市)

「おはよう！ いただきます！ ごちそうさま！ 行ってきます！ いただきます！ 楽しかったよ！ 百点取ったよ！ 頑張ったよ！ おいしいね！ 楽しいね！ おやすみなさい！ 今日ありがとう！ 毎日言ってくれる何気ない言葉が、宝物だよ。」

(母)

はじめてへそのおをみたとき、きもちわるいとおもったけど、ママがわたしにえいようをくれていたんだね。ママがいそがしそうで、やすんでほしいから、せんたくものたんだよ。すこしでもおんがえしできたかなあ。

(小1 輪島市)

「誌優の優しい気持ち、本當にうれしいよ。初めてへそのおを見た時の第一声をいまだに覚えているけど、その時からママの事を想ってくれていた事に胸があつくになりました。これからも、優しい気持ちをもち続けてね。」

(母)

ぼくが友だちとトラブルになった時、お母さんは、ぼくの話聞いてくれてやんでいたね。夜ねていた所に来て泣きながら、ぼくの頭をなでて、「大丈夫。」

「と言ったこと知っているよ。その言葉を聞いて元気がでたんだよ。」

(小3 かほく市)

「学校であったことを話してくれない悠斗。あの日は悠斗から話をしてくれたね。よっぽど辛かったんだね。泣いてたの知ってたんだ。悠斗の気持ちを思うと辛くなったんだよ。何があっても悠斗の味方だし、守るから大丈夫。」

(母)

「スカート脱ぎっぱなしやがね。」

「この一言でいつもお母さんが帰ってきたって分かるけん。」

「いじくらしいけど、なんか安心するから続けてね。そのかわりにお母さんが冷房の下でトドみたいに寝とつたら叩き起こすからね。」

(中2 七尾市)

「あらあら、言うよね。うたた寝って気持ちいいし、絶対起きん自信があるわ。それより、スカート、セカバン、洗濯物等々、毎日片付けてほしい物いっぱいあるし。よし、『いじくらしいビーム』パワーアップやわ。」

(母)

僕は、お母さんに会いたいと思う時が時々ある。亡くなった時僕は前に進むことができなかった。しかし、お父さんは前を向いて僕達を育ててくれた。一番つらいはずなのに、一人で育ててくれてありがとう。

(中3 津幡町)

「お父さんも子育てに迷った時、お母さんに会いたくなります。どう育てたかった？ 俺のやり方はあったか？ 偉そうな事言うけど自信無いんだよ。二人とも我がまま言わず頑張ったな。お母さん、褒めてくれるかな？」

(父)

お母さんは毎日、「早く寝ないと大きくなれないよ。」

「と言うね。」

「だけど最近、あまり早く大きくならないでね。」

「と言ってるね。」

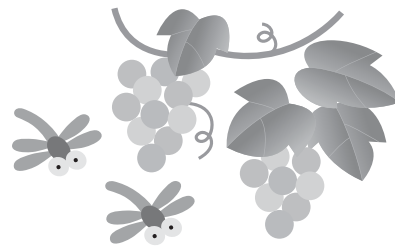
「本當はどっちなのかな？」

「ぼくは早く大きくなって、お母さんをおんぶしてあげたいのにな。」

(小4 金沢市)

「お手紙ありがとう。健康の為に、早く寝て大きく育てて欲しいです。でも、最近、どんどん大きくなっていく姿を見て、少しだけ寂しくなる時があります。だけど：おんぶされなくても、ちゃんと歩けるおばあちゃんになるぞ!!」

(母)



いつも、「留学したい！」

「って言ったら、行ってらし！」

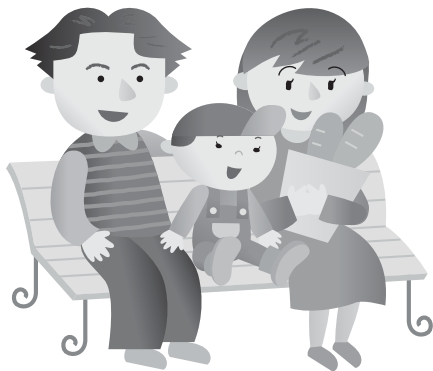
「って言うよね。」

「でも本當は、寂しいんじゃないの？心配でしょ？今は行かないけど、大人になったら海外行って働いてみたいと思ってるけどいいよね？」

(中3 珠洲市)

「すごく不安だけどいいよ。自分の描く将来へ歩いて行くあなたを、いつも見えています。一つお願い、迷ったり行き詰った時、困った時はいつでも素晴らしい故郷、家族のもとへ『ただいま！』とリフレッシュしに帰ってらしね！ 父」

(父)



「大きくなったら、お家を出て行かなくちゃいけないの？」と剛琉はいつも聞けれど、お家には、ただでいいならいいし、いつだって剛琉の好きな時に帰っておいで。だから、心配しなくていいんだよ。

(母)

おとなになってからおかあさんといっしょにすんでいるひとがあまりいないから、でていかなくちやいけないとおもったんだ。ぼくは、じぶんがいきたいようにきめていっていいんだよ。パパとママがいっしょがいいな。

(小1 金沢市)

四月から、パパが単身赴任になって、泣きながら、「ママは、ぼくを守るからね。」と言ってくれてとても心強かったよ。でも、少しの物音でママにしがみつくところはまだかわいいい年生だね。

(母)

おやすみのひしか、パパにあえなくて、さみしいけど、ぼくは、ママといっしょにがんばるよ。まだちょっとこわいけど、はやくおおきくなってママをたすけるよ。だから、それまでまってるね。

(小1 金沢市)

おかあさん、いつもせんたくしてくれてありがとう。きれいなになったせんたくものは、おかあさんのおいがするよ。だから、がっこうにいるときは、おかあさんといるとき、すごくうれしんだよ。

(小1 津幡町)

せんたくものは、おかあさんのおいがするの？ しらなかつたよ。だって、おかあさんがせんたくするとき、あなたのにおいがするから。がっこうでがんばっているにおい。せんたくするとき、いつもうれしくなるんだよ。

(母)

「お母さん、毎日ごはんづくり大へん？」カップやきそばの日もあってもいいよ。少し休んでもいいからね。毎日、やめてね。お父さんにチャーハンいがいもつくれるようになってねと、言っておくからね。

(小2 穴水町)

りくの優しさが伝わったよ。ありがとう！でも、お母さんのご飯をたくさん食べて大きく、たくましく育ってほしいな！お母さんの料理には、りくへの愛がまつとるからね。お父さんには内緒ね(笑)。

(母)

去年、母ちゃんが病院でガンと言われた日の夜、僕は母ちゃんが死んでしまうと思って眠れなかった。母ちゃんも眠れないだろうと思ってたら、大きなイビキかいてねてた。母ちゃんって強いなって父ちゃんと大笑いしたよ。

(小3 内灘町)

まさかガンになるなんて思ってたから、正直不安だったよ。でもね、泣いてたってガンが消えてなくなるわけじゃないし、さっさと取ってしまえばいいって前向きに考えたの。母ちゃんって、強いんだよ！

(母)

お父さん、いつもお父さんに対して、きずつくことばかり口にしてしまって、お父さんはきずついたよ。お父さん、いつも私が落ちこんでいるときもやさしくよりそってくれてありがとう。本当はお父さんのこと大好きだよ。

(小5 加賀市)

大丈夫。お父さんの心は、とてもがんじょうにできています。そして、あなたが落ちこんでいる時は心の手当てができるように、お父さんはいつでも準備しています。これから見守っているよ。

(父)

お父さん、いつもお母さんにないしよでわたしのほしい物を買ってくれてありがとう。いつか大人になってお金をもったら、お父さんがほしい物をお母さんにないしよでこっそり買ってあげてね。二りだけのひみつだよ。

(小3 小松市)

さらが大人になった頃に、お父さんがほしい物を買ってみたよ。うーん、お金で買える物は、少なくなっているかもなあ。まずは、おいしいご飯をおごってもらおうかな。あとね、さら、これさつき、お母さん読んでたよ。

(父)



この前の試合。先生に厳しい言葉をかけられ一人遠くで泣いていたね。そっとするか声をかけるかすごく悩んだ。結局何も言えずゴメン！でも、いつでも一緒にコートを走っているつもりだよ。全くボールは打てないけど(泣)。

(母)

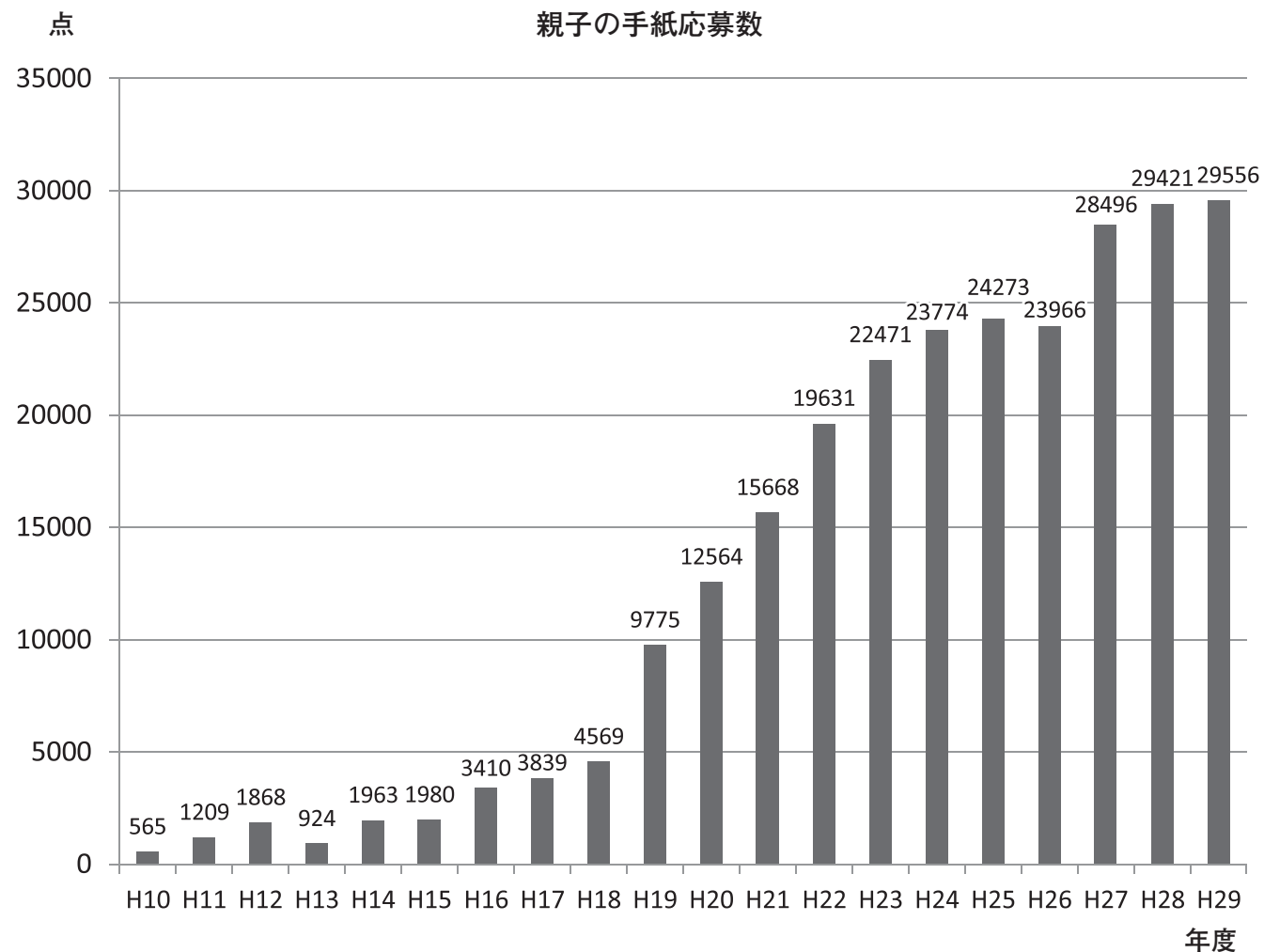
泣いたのばれてたんだ。気づかないふりありがとう。帰った後、だまってつき合ってくれた自主練で息切れしてボール拾いをしてくれたママ。コートで戦っているのはぼくだけじゃないんだよ。これからも一緒に走ってね。

(小5 かほく市)



【資料】

親子の架け橋一筆啓上「親子の手紙」 応募数の推移



「親子の手紙」へのご応募  
 ありがとうございます。  
 みなさんの手紙から  
 家族の温かさや  
 絆の深さが伝わってきました。  
 「今、思っていること」  
 「今、聞いてほしいこと」  
 「今だから言えること」を  
 これからも大切な家族と  
 話し合ってください。

心の教育推進協議会

親子の架け橋一筆啓上「親子の手紙」20周年記念 優秀賞作品集

平成29年11月発行

心の教育推進協議会  
 (石川県教育委員会事務局生涯学習課内)  
 〒920-8575 金沢市鞍月1丁目1番地  
 TEL(076)225-1839 FAX(076)225-1838  
<http://www.pref.ishikawa.jp/kyoiku/syougai/kyogikai/>

背が小さいお父さんゆずり  
 数学が苦手お父さんゆずり  
 二度寝症お父さんゆずり  
 くせっ毛お父さんゆずり  
 すべてはお父さんのせいだ！  
 親子でも似すぎです！  
 (中1 加賀市)

背が小さい小さい女の子は可愛い  
 数学が苦手代わりに英語が好き  
 二度寝症 二回も夢が見れる  
 くせっ毛 二回も夢が見れる  
 すべて良い事づくめだろ？  
 父に似た事に感謝しなさい。  
 (父)

お母さん、いつも本読みを聞いてくれてありがとう。  
 この間の七月の暗唱で、お母さんの特訓のおかげで合格したよ。  
 校長先生に、「完璧。」  
 って言われてうれしかったよ。  
 毎月の暗唱で合格するように、がんばるよ。  
 (小6 羽中市)

「母さん、いいものを見せてあげる」と後ろに隠していた合格証を見せてくれた時、一緒に喜んだね。  
 校長先生に褒められてすごく嬉しかったって言った時の顔、母さん忘れないよ。  
 また一緒に練習しようね。  
 (母)

私には最高のサポーターがいます。眠いし、体が痛いし、暑いし。私にはそんなストレスがあります。でも、そんな時、そのサポーターは私たちに勇気を与えてくれます。生きる幸せ、勝つ喜びを教えてくださいありがとうございます。  
 (中1 宝達志水町)

私には無敵のサッカー選手がいます。平日は送り迎え、休日は早朝から弁当。中年の体には堪えません。それでも、その選手は弱音を吐かず、勉強して先輩や仲間との絆を胸に全国大会へ行きます。希望を教えてくださいありがとうございます。  
 (母)

「明日のお弁当何にする？」とお母さんが毎日聞いてくる。僕は、「食べる時間がないから、おにぎり二個でいい。」と答える。  
 本当はお母さんが喘息と肺炎で、毎日、点滴しているから、元気がなかったらおかずも注文したい。  
 (中1 金沢市)

申し訳なさいの反面、おにぎり二個ではお腹が満たせない程、成長していることに胸が熱くなりました。いつも、お母さんを大切にしてくれて有難う。  
 元気になったら、食べきれないくらいのおかずを入れてあげるからね！  
 (母)

我が家では誰もLINEをしません。  
 私もお母さんも妹も友達においでいかれることがあるよね。でもそんなアナログなこの家族がすごく好き！  
 これからも、会話を大切にしようね。  
 (中3 金沢市)

「子どもの成長って一瞬なのよ。」このことは、先輩ママさんのことばです。このことばの意味、あなたたちが小さかった頃より、最近の方がずっと身に染みます。だから、下ばかり見てはいられない、見逃せないから。  
 (母)

